共に、
学び・考え・行動する生徒の育成

ちょうちゅうかわらばん
長中瓦版

藤沢市立長後中学校
学校だより

〒252-0807 神奈川県藤沢市下土棚 590 番地　0466(44)0341　　2023.9.1　No.5

８／２２教育文化講演会「これからの学校のあり方を考える」の報告

藤沢市教育文化センター　教育文化講演会
これからの学校のあり方を考える

現在様々なメディアがこれからの学校のあり方について報道しています。コロナ禍を経験した今、改めて学校の役割やこれからの学校について、教育研究家として数多くの講演をされている妹尾先生よりお話をいただきます。“これからの学校のあり方”や“未来を生きる子どもたちのための教育”について、教育文化講演会を通して一緒に考えませんか？

［講師］
妹尾　昌俊　氏
教育研究家、一般社団法人ライフ＆ワーク代表理事、学校業務改善アドバイザー

文部科学省での講演のほか、全国各地の管理職、教員、事務職員に加え、教育委員会向け研修、教育委員会等のアドバイザーなどを手がけている。

問合せ　藤沢市教育文化センター
Tel (50)8300

と　き　８月22日（火）14:00～16:15
（入場無料 手話通訳有）
ところ　湘南台文化センター　市民シアター
定　員　600人
申込方法　二次元コードもしくは電話
申込み　７月25日（火）～８月７日（月）
申込フォーム（二次元コード）
電話　Tel（50）8300
受付　平日8:30～17:00

標題の講演会を聴いてきました。講師の妹尾先生は５人の子どもの父親であり、保護者の立場からも様々な学校・教育の課題についての考えを発信しています。

最初は「夏休み中のかなりの量の宿題って必要？」という内容のお話でした。「宿題を大量に与えた場合や教師が宿題を点検しない場合、学力に対する効果はなかった、という研究もある」ということでした。つまり、宿題を出す量や内容、指導の仕方について、再考してほしいというものでした。

長後中では、宿題を夏休み中のフォロー学習の時間にも取り組めるようにしていました。

２番目の話題は「修学旅行って、何のためにやっていますか？」。それに対して「かなりの費用がかかる。経済的な理由で参加を見送る家庭もある」「思い出づくりのためならいらないのではないか」というお話し。つまり、「『思い出に残る、学びのある修学旅行』をみんなで作り上げていきませんか」という主旨でした。

３番目の話題は、学校に通えない児童生徒について。要因は、学校からの報告では「無気力・不安」が多いとなっていますが、不登校生徒への聞き取り調査では、「身体の不調」に次いで「先生との関係」「学習」が多いそうです。生徒のSOSや辛さを、先生たちは自身が思っているほどにはキャッチできていないのではないか、というお話でした。

長後中学校では、先生に相談できないことでもスクールカウンセラーや藤沢市・県の様々な相談窓口に相談できるよう連絡先を周知しています（本校のホームページにも相談窓口等のリンクを貼ってあります）。ちなみに、今年４月に実施した全国学力学習状況調査（生徒質問紙）の項目で、「学校に行くのは楽しいか」という質問に対する「当てはまる」と回答した長中生の割合は、県・全国平均をわずかですが上回っていました。

４番目の話題は、教育の目的は、児童生徒が「一人ひとりが未来の新しい社会を作り出していく主人公のような存在になること」を目指すものであって「社会の一員になっていく」とか「社会に適応していく」ということではないという研究者の言葉を引用したうえで、「学校はそのような人材を育てて来ましたか?」というお話でした。これからは、予測困難な社会の変化に対応できる力、主体的に学び続けて自ら能力を引き出し、自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして、新たな価値を生み出していく力が求められているが、それに今の学校教育は答えられていないのではないかという内容でした。

上述の力は長後中の目指す目標でもあり、まだ十分とは言えませんが、協働して課題を解決する能力、よりよい集団・地域・社会づくりに参画する意欲を育てる活動を取り入れています。今後さらに充実させてきたいと考えています。

この講演会は、毎年様々な教育に関する講師を招聘して開催されており、保護者の方も参加できます。来年度も開催されると思いますの

で、その際には、学校だよりやホームページで御案内いたします。

9.1 関東大地震 100 年

関東大地震は 1923 年９月１日の午前 11 時 58 分に発生しました。地震の規模はＭ（マグニチュード）7.9 と言われています。当時木造家屋が主流だったこと、ちょうど昼食の準備等のため家庭で火が使われていたことが重なり地震よりもその後の火災による被害が大きかったと言われています。

関東大地震は巨大地震となることが多い海溝型でした。地震調査研究推進本部によるこの地域での同様の地震の 30 年以内の発生確率は０～6%（令和５年１月１日）です。また、プレートの沈み込みによるＭ7 程度の地震の 30 年以内の発生確率は 70%です。

藤沢市立学校では震度５弱以上の地震が発生した時は、生徒は保護者の方が引き取りに来られるまで学校待機となります。そのために３回分の食料を保管しています。

偶然、これまで大規模の地震（最大震度６以上）が発生した時は、学校は休日か、早朝（阪神・淡路大震災等）、放課後（関東大震災・北海道南西沖地震等）で、学校で地震発生後の児童生徒の保護についての対応をしたことがありませんでした。2011 年の東日本大震災が初めて学校に児童生徒がいる時間帯に起きた大地震だったのです。この反省が活かされるように各学校では備えをしています。

ご家庭でも災害時の約束事をきめたり、最低限必要な水や食料を蓄えておくなどあらためて防災について考えるきっかけにしましょう。

揺れの他にも危険なこと

関東大震災の時には、デマが広がり、軍・警察・市民による朝鮮人等の虐殺事件がありました。恐怖と混乱によるものと考えますが、けっして忘れてはいけない悲惨な出来事であったと考えます。

大規模災害や戦争等で人々が混乱していると、誤った情報やデマによって正しい判断をしにくくなります。熊本地震の際には、動物園からライオンが逃げたというデマ情報が、加工された画像とともに SNS で拡散されました。画像は加工されたものか否かの判断がつきにくい精巧なものでした。日頃から、その情報は誰が何のために発信したものか、他の機関ではどのように扱っているか等、情報の真偽を判断して受け止める習慣を身につけておくことがとても大切です。

長後中学校でも様々な場面で情報リテラシー育成の機会を設定しておりますが、ご家庭でもこの機会に話題にしてくださるとよいと思います。

運動部では 3 年生引退、新体制へ

総合体育大会が終わり、運動部の３年生はこれまで約２年半の間、自身の心と身体を鍛え、チームメイトと励ましあい、高めあいながら頑張ってきました。保護者の皆様も心からの応援ありがとうございました。部活動で培った力は今後の人生に大きく役立つものと信じています。1、２年生は今、10 月の新人戦に向けて力をつける努力をしているところです。今後とも応援をよろしくお願いいたします

10 月の主な予定　※変更する場合があります

３（火）	３年三者面談午前授業～12 日
６（金）	前期終業式
10（火）	秋季休業
11（水）	後期始業式　午前授業　教育実習～31 日
12（木）	PTA 運営委員会
13（金）	市内音楽会
16（月）	合唱学年リハーサル
17（火）	生徒会立会演説会 投開票 教育相談～25 日
19（木）	合唱コンクール（湘南台市民シアター）
20（金）	５時間授業～25 日
26（木）	任命朝会　専門委員会
27（金）	午前授業
30（月）	評議委員会
31（火）	5 時間授業ー